

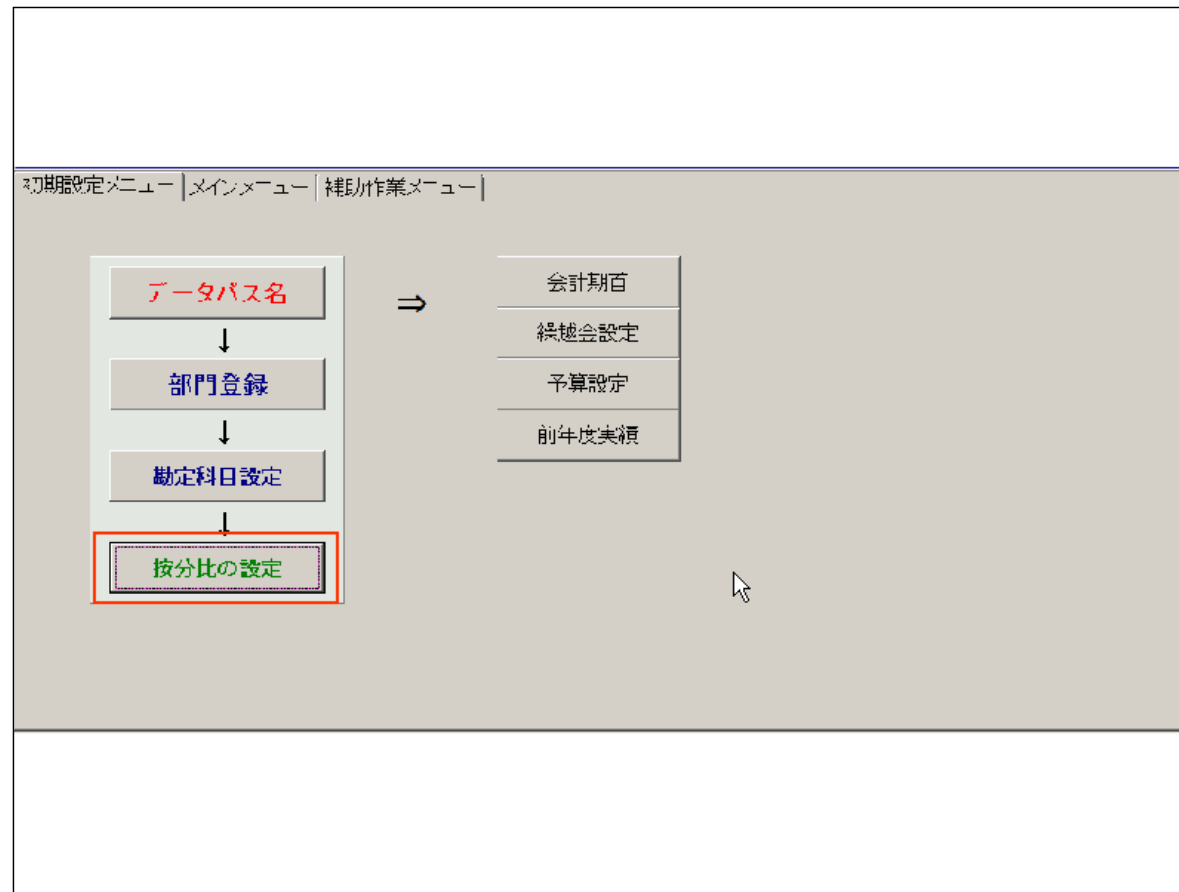
スライド1

らくらく会計の共通説明

按分比の設定と案分仕訳

按分比を設定すると、按分仕訳を行うことができます。
按分比の設定と、按分仕訳について説明します。

スライド2



初期設定メニューで、按分設定のボタンを押してください。

スライド3

データベース名【2012年】

按分比自動設定 再計算 按分比(1000分率)の設定 テーブル新規作成 CSV出力

按分割合は合計が1000になるように設定してください。

按分比(総勘定科目)

code	科目名	合計	〇〇公益事業	△△公益事業	公益事業計	□□収益事業	収益事業計	法人会計
55100	事/減価償却費	0						
55110	事/消耗什器備品費	0						
55120	事/消耗品費	0						
55130	事/修繕費	0						
55140	事/印刷製本費	0						
55150	事/燃料費	1000	400	300		250		50
55160	事/光熱水料費							
55170	事/賃借料							
55180	事/保険料							
55190	事/諸謝金							
▶55200	事/租税公課	0						
55210	事/支払負担金	0						
55220	事/支払助成金	0						
55230	事/支払寄付金	0						
55240	事/委託費	0						
55250	事/有価証券運用損	0						
55260	事/雑費	0						
55270	事業費計							
56000	管理費							
56010	管/役員報酬	0						
56020	管/給料手当	0						
56030	管/賞与	0						
56040	管/賞与引当金繰入額	0						
56050	管/退職給付費用	0						
56060	管/役員退職慰労金	0						

合計が1000になるようにする。

例えば、この例のように、事業費の燃料費を、案分仕訳の科目にしたい場合は、合計が1000になるように、各部門に按分比を入れてください。

スライド4

データベース名【2012年】

新規登録モード

補助作業 雛型読出 伝票印刷 日記帳印刷

仕訳入力 | 仕訳検索 | 仕訳点検

4 □□収益事業 整理伝票 未決済伝票

0 自動按分

1 ○○公益事業

2 △△公益事業

3 公益事業計

4 □□収益事業

5 収益事業計

6 法人会計

単票印刷 書込(F7)

借方金額	貸方科目コード	貸方金額	摘要名1
税区分	補助科目コード	消費税区分	摘要名2
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

仕訳入力の画面に入り、按分仕訳を行いたい場合は、部門選択のメニューから”自動按分”を選択します。

スライド5

データベース【2012年】

新規登録モード

補助作業 雛型読出 伝票印刷 日記帳印刷

仕訳入力 | 仕訳検索 | 仕訳点検

0 自動按分 整理伝票 未決済伝票

伝票番号 990001 / 0

年月日 2012 年 12 月 25 日

単票印刷 書込(F7)

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
155150 事/燃料費	100,000	11030 預金1	100,000	
<input type="checkbox"/> 2				
<input type="checkbox"/> 3				
<input type="checkbox"/> 4				
<input type="checkbox"/> 5				
<input type="checkbox"/> 6				
<input type="checkbox"/> 7				
<input type="checkbox"/> 8				

按分比を設定した科目は、この例のように仕訳をおこなうと、各部門に按分した仕訳が入ります。
 なお、按分比を設定した科目でも、部門を選択すると、通常の仕訳入力出来ます。

スライド6

code	科目名	△△公益事業	△△公益事業	公益事業計	△△公益事業	公益事業計	△△公益事業	公益事業計	△△公益事業	公益事業計
60000	一般一時的資産部									
60010	1. 経常資産部									
50000	(1) 借入金									
50010	(2) 借入金									
55000	事業費									
55100	燃料費	40000	20000	70000	25000	25000	20000	100000	100000	100000
55200	事業費	40000	20000	70000	25000	25000	20000	100000	100000	100000
56000	雑損									
66000	経常仕入合計	100000	50000	70000	25000	25000	20000	100000	100000	100000
56000	経常資産増減当期変動額	-40000	-20000	-70000	-25000	-25000	-20000	-100000	-100000	-100000
57000	経常資産増減当期変動額									
58000	経常資産増減当期変動額	40000	20000	70000	25000	25000	20000	100000	100000	100000
60000	2. 経常外資産部									
60010	(1) 経常外負債									
60020	(2) 経常外負債									
66000	(3) 経常外負債									
67000	(4) 経常外負債									
68000	一般一時的負債部									
68010	一般一時的負債部	-40000	-20000	-70000	-25000	-25000	-20000	-100000	-100000	-100000
69000	経常負債増減当期変動額									
70000	経常負債増減当期変動額									
80000	経常負債増減当期変動額									
80010	経常負債増減当期変動額	-40000	-20000	-70000	-25000	-25000	-20000	-100000	-100000	-100000

先ほどの仕訳を確認するために、内訳表の出力すると、このようになり、
 按分比に従って、各部門に仕訳が入っていることがわかります。
 以上で、按分仕訳についての説明を終わります。